



東京の伝統工芸品

～江戸から伝わる匠の技～



村山大島紬

むらやまおおしまつむぎ

村山大島紬の始まりは、江戸時代後期と言われています。1920年頃、綿織物の「村山紺紺」と絹織物の「砂川太織」の2つが合流して、絹織物としての村山大島紬が織られるようになりました。板締め注入染色法という独特の技術で染められた紺糸を用いることが特徴です。

●主な製造地

武蔵村山市、瑞穂町、昭島市



東京染小紋

とうきょうそめこもん

小紋の始まりは室町時代にさかのぼります。江戸時代に全国から集まる大名の袴(かみしも)を染めるようになり、産地が形成され華やかに発展しました。染には伊勢型紙が用いられ、その繊細な幾何学模様と単彩の中にも粋で格調高い趣があります。

●主な製造地

新宿区、世田谷区、練馬区ほか



本場黄八丈

ほんばきはちじょう

八丈島に自生する草木を染料とした草木染めで、絹糸を黄・樺・黒の三色に染め上げ、手織によって織り上げられています。室町時代に八丈島から黄紬の名で絹織物が献上されたという記録があり、江戸時代以後、粋な縦縞、格子縞が織られ、日常着として広く親しまれるようになりました。

●主な製造地

八丈島



江戸木目込人形

えどきめこみにんぎょう

発祥は、江戸時代中期から京都の賀茂で作られた「賀茂人形」にあります。胴体の木地に筋目をつけ、そこに衣裳地を木目込んで作られたことから「木目込人形」と呼ばれるようになりました。今日の江戸木目込人形は「賀茂人形」と比べ、顔が痩せ型で小味のきいた細かい目鼻立ちが特徴です。

●主な製造地

台東区、墨田区、荒川区ほか



東京銀器

とうきょうぎんき

江戸時代中期に、彫金師の彫刻する器物の生地作り手として、銀師(しろがねし)と呼ばれる銀器職人や、かんざし、神輿金具等を作る金工師と呼ばれる飾り職人が登場したことが「東京銀器」の始まりでした。現在では、食器や茶器などの生活必需品や装飾品などが作られています。

●主な製造地

台東区、荒川区、文京区ほか



東京手描友禅

とうきょうてがきゆうぜん

手描友禅は、江戸時代に京都の絵師「宮崎友禅齋」によって創始されたと言われています。江戸の洗練された庶民文化の中に江戸の友禅として発展し、江戸の粋を現代に伝えていきます。型紙を用いずに下絵から色挿し、仕上げまでの工程を手描きによって染付けします。

●主な製造地

新宿区、練馬区、中野区ほか



多摩織

たまおり

「桑の都」と呼ばれた八王子では、古くから絹が織られ、文政年間には様々な技法が導入され、明治初期には多くの技術・技法が定着しました。多摩織は、御召織(おめしおり)、紬織(つむぎおり)など5つの織物の総称で、多摩織独特の渋い味わいが特徴です。

●主な製造地

八王子市



東京くみひも

とうきょうくみひも

日本は世界でも珍しいくらい「ひも」の発達した国だと言われ、くみひもの起源は、江戸時代以前にさかのぼります。徳川幕府の開設により武具の需要が高まり、くみひもの生産が盛んになりました。地味の中にも、粋があり、ワビ・サビといわれる渋好みの色使いが特徴です。

●主な製造地

台東区、杉並区、北区ほか



江戸漆器

えどしっき

江戸漆器は1590年に江戸城に入城した徳川家康が京都の漆工を招いたのが始まりと言われています。享保時代以降は庶民の日用品として普及し、茶道具、座卓を始め多様な製品が生産されました。特に、そば道具やうなぎの重箱などの業務用食器が特色です。

●主な製造地

台東区、中央区、足立区ほか



江戸鼈甲

えどべっこう

鼈甲の歴史は古く、正倉院の宝物の中にも鼈甲の装飾品が見られます。江戸時代に張り合わせの技法が伝えられ、複雑な造形ができるようになり、町人文化の台頭とともに豪華な櫛、かんざしなどが作られるようになりました。特に眼鏡枠製造は東京が主産地となっています。

●主な製造地

文京区、台東区、墨田区ほか



江戸刷毛

えどはけ

刷毛の歴史は古く、かつては、植物のキビの毛を用いて漆を塗る道具として使用していたと言われます。「江戸刷毛」は、江戸中期の文献に当時の刷毛が紹介されていることに由来します。刷毛の命は毛先であり、毛先を整えると同時にクセ直しと脂分の除去が大切な工程となっています。

●主な製造地

台東区、墨田区、新宿区ほか



東京仏壇

とうきょうぶつだん

元禄時代に指物師が仕事の合間に独自の技法で製作したのが始まりで、仏教の繁栄により仏壇製作に専念するようになりまし。唐木材(黒檀や紫檀など)により作られ、江戸の渋好みの伝統による錆(かざり)金具を使わないシンプルな作りが特徴です。

●主な製造地

台東区、荒川区、足立区ほか



江戸つまみ簪

えどつまみかんざし

江戸つまみ簪は、小さく刻んだ布切れをつまんで作ることに由来します。江戸時代の初期に江戸城の大奥で古くなった着物を再利用して遊び感覚で簪にしたのが始まりと言われています。最近ではお正月、七五三、成人式などで女性の着物姿を一層ひきたたせています。



●主な製造地

台東区、荒川区、墨田区ほか

東京額縁

とうきょうがくぶち

日本では昔から生活空間を彩る屏風形式の絵画が愛好され、額縁が本格的に作られるようになったのは明治時代を迎え 欧米文化の洋画(油絵)の技術が流入されてからです。今日では日本古来の漆技術を生かし、時代の要求に沿った新感覚の額縁が製作されています。

●主な製造地

台東区、豊島区、荒川区ほか



江戸象牙

えどぞうげ

古代エジプトでは豪華な家具や装身具に象牙が用いられ、日本には奈良時代に中国から象牙彫り技法が伝えられました。象牙は、象の門歯が伸びたもので、滑らかな肌ざわり、美しい光沢、半透明の乳白色の色調に特徴があり、江戸時代には根付け、髪飾などに愛用されました。



●主な製造地

台東区、文京区、墨田区ほか

江戸指物

えどさしもの

元禄時代には消費生活の発達につれ、大工職から分化し専門の指物師がいたことが知られています。江戸指物は、武家、商人、江戸歌舞伎役者用に多用されました。桑、櫟、桐など木目のきれいな原材料を生かし、接合には金釘を使わずに作られています。

●主な製造地

台東区、荒川区、江東区ほか



江戸簾

えどすだれ

清少納言の「枕草子」によると、平安時代の宮廷生活で簾(御簾)が使われていました。江戸の繁栄につれ、武家屋敷、神社仏閣をはじめとして、広く庶民にも使われており、専門の御簾師もいたと言われています。天然素材の味わいをそのまま生かしているのが特徴です。

●主な製造地

台東区、港区



江戸更紗

えどさらさ

更紗(SARASA)は今から三千年以上前の遠い昔、インドで発祥し、日本には室町時代に伝えられたと言われています。更紗の魅力は、木綿に染められた五彩(臙脂えんじ、藍、緑、黄、茶)のカラフルな染め模様とあり、型紙を30枚以上使い、丁寧に色を重ねて作り上げます。

●主な製造地

新宿区、豊島区、荒川区ほか



東京本染ゆかた

とうきょうほんぞめゆかた

平安時代に入浴の際身にまとった湯帷子(ゆかたびら)に始まり、江戸時代には湯上り用に木綿の単(ひとえ)が流行し、その後、外着にも用いられるようになりました。現在では、「注染」という世界でも類を見ない技法を用い、「東京本染ゆかた」と「東京本染手拭」が作られています。

●主な製造地

江戸川区、足立区、葛飾区ほか



江戸和竿

えどわざお

江戸時代の享保年間に天然の竹を用いた「継ぎ竿」が作られました。日本特産の布袋竹(ほていたけ)、矢竹(やだけ)、淡竹(はちく)などの様々な種類の竹を使い分け、竹の表皮を生かした漆仕上げをして、あらゆる魚の種類に応じた竿を制作しています。

●主な製造地

台東区、葛飾区、荒川区ほか



江戸衣裳着人形

えどいしょうぎにんぎょう

雛人形、五月人形、市松人形など衣裳を着付ける人形の総称です。江戸時代初期に京都の影響を受けて始まり、江戸中期から後期にかけて度重なる禁令のため江戸独自の発展をとげ、小ぶりで渋い江戸好みの質の高い人形達が生み出されました。現在もその風情は受け継がれています。

●主な製造地

江戸川区、墨田区、台東区ほか



江戸切子

えどきりこ

江戸時代後期、江戸大伝馬町のピードロ屋、加賀屋久兵衛が金剛砂を用い切子技法を工夫したのが江戸切子の始まりと言われていいます。切子とは、硝子の表面に金盤や砥石を用いてさまざまな模様をカットする技法で、菊、籠目などの伝統柄を種々組み合わせた切子模様が独特です。

●主な製造地

江東区、江戸川区、墨田区ほか



江戸押絵羽子板

えどおしえはごいた

江戸時代に浮世絵師が多く活躍し、歌舞伎役者の羽子板が人気を博しました。「押絵」とは、厚紙等の台紙に布を貼ったり、布に綿をくるんで厚みを持たせた部品を作ったりして立体的な絵を作る技術で、正月の縁起物、女子の成長を祝う品として親しまれています。



●主な製造地

墨田区、江東区、葛飾区ほか

江戸甲冑

えどかつちゅう

端午の節句は、男の子の健やかな成長を祝う、古くからの伝統行事です。江戸時代後期には、飾り甲冑が作られ、飾り物とされてきました。製造工程は複雑多岐で、金工漆工、皮革工芸、組紐などのあらゆる伝統工芸技法を集大成しているのが特徴です。

●主な製造地

墨田区、台東区、文京区ほか



東京籐工芸

とうきょうとうこうげい

籐は、主に東南アジアに自生するヤシ科の植物で、地球上で最も長く生長の早い植物と言われています。古くは戦国武士の弓に挽籐が用いられ、江戸時代には生活用品として一般庶民に普及しました。今日では、しなやかで軽く、丈夫な籐製品は、日常生活に定着しています。

●主な製造地

足立区、台東区、豊島区ほか



東京桐箆笥

とうきょうきりたんす

運送手段が未発達時代に、箆笥は消費地である大都市圏で製造され、大名屋敷や商家、一般へと普及しました。東京桐箆笥は最上とされる会津桐や南部桐を使い、一棹一棹丁寧に仕上げられ、防湿性・耐火性に優れています。



●主な製造地

荒川区、台東区、品川区ほか

江戸刺繍

えどししゅう

我が国に現存する最古のものは飛鳥時代の繡仏(仏像を刺繍で表現したもの)です。装飾としての刺繍は、平安時代以降であり、公家社会を背景にその豪華さを競いました。江戸時代には、町人の衣類にも刺繍が施され、江戸刺繍が栄えました。

●主な製造地

足立区、新宿区、江東区ほか



江戸木彫刻

えどもくちょうこく

木彫刻の歴史は仏教の伝来と共に始まったと言われます。平安時代には仏像が彫られ、江戸時代には社寺建築の柱などに装飾を施す建築彫刻が発達しました。現在でも、仏像などの置物彫刻や、みこし、葬祭具等の付属彫刻、欄間などの建築彫刻といった木彫刻が作られています。

●主な製造地

葛飾区、足立区、台東区ほか



東京彫金

とうきょうちょうきん

彫金の技術は古墳時代を起源としています。江戸時代には刀剣のほか、煙管（きせる）、根付などにも用いられました。鑿（たがね）一つで丹念に彫り、さまざまな模様を描きだし、さらに独特の着色方法を用いて、精練された味わいをもつ作品を生みだしています。

●主な製造地

台東区、文京区、足立区ほか



東京打刃物

とうきょううちものはもの

「日本書記」によると、日本の鍛冶の始まりは敏達天皇の時代（6世紀）と言われている。武士階級の台頭につれて切れ味の鋭い日本独自の打刃物が発達し、その後、文明開化とともに洋風刃物の製作が行われ、今日まで続く東京打刃物の基礎が築き上げられました。

●主な製造地

足立区、荒川区、台東区ほか



江戸表具

えどひょうぐ

表具・表装の技術は、仏教とともに中国から伝わり、その後、床の間の発生や茶道の興隆により需要が増え、江戸時代には上流社会の必需品となりました。伝統的な色目使いを重んじた格調高い取り合わせを基調とし、掛軸は、丈は短め、色調は淡彩、淡白なところに特徴があります。



●主な製造地

大田区、江東区、台東区ほか

東京三味線

とうきょうしゃみせん

三味線の祖は中国の三絃(さんげん)にあり、14世紀末に元から琉球国を経て、室町永禄年間に大阪の堺に渡来し、当時、琵琶法師が小唄や踊唄に合わせて演奏しました。東京三味線は、全工程(除く胴作り)を一人で製作しています。



●主な製造地

台東区、豊島区、文京区ほか

江戸筆

えどふで

「筆」は、文房四宝(硯・墨・筆・紙)の1つです。610年頃、高句麗の僧が、製法を伝えたのが筆の始まりと言われています。江戸中期に商人の台頭とともに寺子屋の急増で需要が増大し、筆職人の技術も進歩して、多くの江戸名筆を生み出しました。

●主な製造地

台東区、豊島区、練馬区ほか



東京無地染

とうきょうむじぞめ

染法の中で最も基本的な染で、植物で布地に色付けすることから始まりました。仏教の伝来と共に、藍、紅花が渡来し、奈良・平安時代に技術が確立され、江戸時代には江戸紫、江戸茶などの無地染が江戸庶民文化として芽生え、庶民の間で広く愛用されました。

●主な製造地

新宿区、中野区、杉並区ほか



東京琴

とうきょうこと

琴は、奈良時代に雅楽として中国から伝来し、安土桃山時代にあみだされた筑紫琴が源流となっています。その後、琴師の重元房吉が琴の長さや厚み、ムクリ(縦方向のソリ)に改良を加え、音量、音質に東京琴の特徴を出しました。

●主な製造地

文京区、杉並区、渋谷区ほか



江戸からかみ

えどからかみ

唐の国から渡ってきた紋唐紙は、時と共に江戸の武家や町人の住まいの装飾として、襖や壁に用いられるようになり、享保年間には江戸に千型もの版木があったといわれるほど隆盛を誇りました。木版摺りをはじめ、捺染摺り、砂子時きなど、その意匠と技術は今も受け継がれています。

●主な製造地

江戸川区、練馬区、文京区ほか



江戸木版画

えどもくはんが

木版画の歴史は古く、約 1,200 年前に木版を利用して衣服の文様を表した蛮絵（ばんえ）が正倉院に所蔵されています。江戸時代に下絵を書く絵師、版木に彫る彫師、紙に摺る摺師の分業体制が形成され、歌麿、北斎、広重等の精緻な表現技法の確立により完成の域に達しました。

●主な製造地

台東区、荒川区、文京区ほか



東京七宝

とうきょうしっぽう

七宝は、金、銀、銅などの金属製の下地にガラス質の釉薬をのせて高温で焼成する工芸品です。東京七宝は、江戸初期、平田道仁が朝鮮からの渡来人に七宝技術を学び、凹部に色付けしたものが始まりと言われており、現在では装身具、校章、社章など多くに用いられています。

●主な製造地

台東区、荒川区、北区ほか



東京手植ブラシ

とうきょうてうえぶらし

19 世紀の中頃、世界に向けての開国とともに、日本を訪れた欧米人への日常生活用ブラシ（洋服ブラシ、馬洗いブラシ等）が必要となり、幕府・各藩は洋式軍制を導入したことでブラシ製造工業が発展しました。手植ブラシは、機械植えに比べ、植毛が密であり、多様な台材が使用できます。

●主な製造地

台東区、墨田区、荒川区ほか



江戸硝子

えどがらす

日本の硝子製造は、弥生時代に始まり、江戸における硝子は 18 世紀の始め、鏡、眼鏡、風鈴等を製造したのが始まりとされています。欧州の技術の導入により、明治時代初期に工芸品を近代化し、東京の下町の地場産業として発展しました。

●主な製造地

墨田区、江東区、江戸川区ほか



江戸手描提灯

えどてがきちょうちん

16 世紀の初め、室町時代に初期の提灯と認められる籠提灯（かごちょうちん）が使われたのが始まりと言われ、江戸時代に提灯が普及しました。提灯に描き入れる文字は江戸文字と言われ、線の入れ方を工夫して、バランスよく遠くからも見やすく描くのが特徴です。

●主な製造地

台東区、荒川区、墨田区ほか



■東京都

伝統工芸品マーク



このマークがついている製品は東京都知事が指定した伝統工芸品です。

都の紋章と伝統工芸品の頭文字の「伝」をあしらいました。

東京の伝統工芸品

東京の伝統工芸品は、長い年月を経て東京の風土と歴史の中で生まれ、時代を越えて受け継がれた伝統的な技術・技法により作られています。伝統工芸品は、手作りの素朴な味わい、親しみやすさ、優れた機能性等が、大量生産される画一的な商品に比べて、私たちの生活に豊かさや潤いを与えてくれます。

伝統工芸品は地域に根ざした地場産業として地域経済の発展に寄与するとともに、地域の文化を担う大きな役割を果たしてきており、現在 41 品目が指定されています。

● 東京都伝統工芸品の指定制度

下記の要件を備える工芸品について、「東京都伝統工芸品産業振興協議会」の意見を聴いて、知事が東京都伝統工芸品に指定しています。

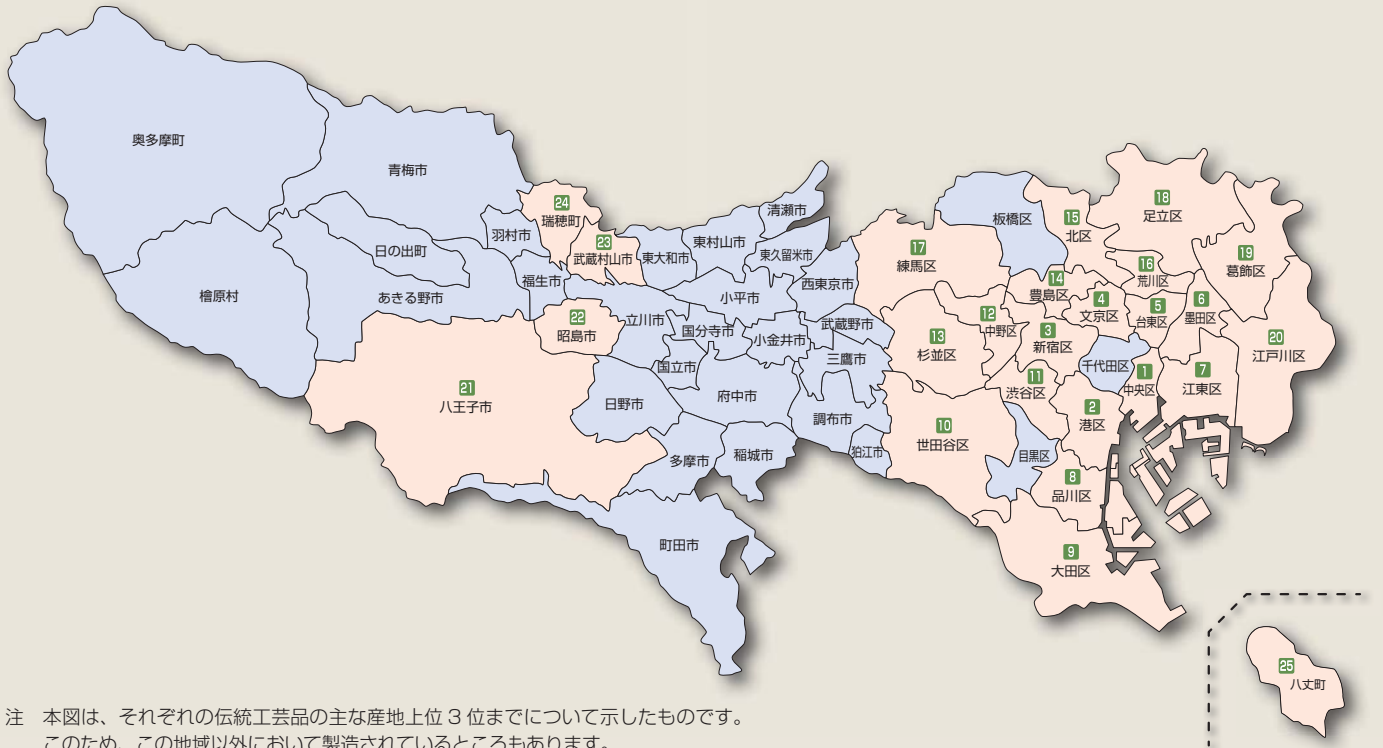
- 製造工程の主要部分が手工業的であること。
- 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
- 伝統的に使用されてきた原材料により製造されるものであること。
- 都内において一定の数の者が、その製造を行っていること。

● 東京都伝統工芸士の認定制度

下記の要件を備える者のうちから、「東京都伝統工芸品産業振興協議会」の意見を聴いて、知事が東京都伝統工芸士に認定しています。

- 東京都伝統工芸品の製造の実務経験が 15 年以上あり、現在もその製造に従事していること。
- 高度の伝統的技術・技法を有していること。
- 伝統工芸品産業振興事業の推進に協力しており、今後も協力できること。

東京の伝統工芸品産地



注 本図は、それぞれの伝統工芸品の主な産地上位3位までについて示したものです。
このため、この地域以外において製造されているところもあります。

1 中央区

江戸漆器

2 港区

江戸簾

3 新宿区

東京染小紋
東京手描友禅
江戸刷毛
江戸更紗
江戸刺繍
東京無地染

4 文京区

東京銀器
江戸鼈甲
江戸象牙
江戸甲冑
東京彫金
東京三味線
東京琴
江戸からかみ
江戸木版画

5 台東区

江戸木目込人形
東京銀器
東京くみひも
江戸漆器
江戸鼈甲
江戸刷毛
東京仏壇
江戸つまみ簪

東京額縁
江戸象牙
江戸指物
江戸簾
江戸和竿
江戸衣裳着人形
江戸甲冑
東京藤工芸
東京桐箆筥
江戸木彫刻
江戸彫金
東京打刃物
江戸表具
東京三味線
江戸筆
江戸木版画
東京七宝
東京手植ブラシ
江戸手描提灯

6 墨田区

江戸木目込人形
江戸鼈甲
江戸刷毛
江戸つまみ簪
江戸象牙
江戸衣裳着人形
江戸切子
江戸押絵羽子板
江戸甲冑
東京手植ブラシ
江戸硝子
江戸手描提灯

7 江東区

江戸指物
江戸切子
江戸押絵羽子板
江戸刺繍
江戸表具
江戸硝子

8 品川区

東京桐箆筥

9 大田区

江戸表具

10 世田谷区

東京染小紋

11 渋谷区

東京琴

12 中野区

東京手描友禅
東京無地染

13 杉並区

東京くみひも
東京無地染
東京琴

14 豊島区

東京額縁
江戸更紗
東京藤工芸
東京三味線

江戸筆

15 北区

東京くみひも
東京七宝

16 荒川区

江戸木目込人形
東京銀器
東京仏壇
江戸つまみ簪
東京額縁
江戸指物
江戸更紗
江戸和竿
東京桐箆筥
東京打刃物
江戸木版画
東京七宝
東京手植ブラシ
江戸手描提灯

17 練馬区

東京染小紋
東京手描友禅
江戸筆
江戸からかみ

18 足立区

江戸漆器
東京仏壇
東京本染ゆかた
東京藤工芸
江戸刺繍

19 葛飾区

東京本染ゆかた
江戸和竿
江戸押絵羽子板
江戸木彫刻

20 江戸川区

東京本染ゆかた
江戸衣裳着人形
江戸切子
江戸からかみ
江戸硝子

21 八王子市

多摩織

22 昭島市

村山大島紬

23 武蔵村山市

村山大島紬

24 瑞穂町

村山大島紬

25 八丈町

本場黄八丈

伝統工芸品「見学・体験工房」

ご利用にあたってのお願い

- ① ご利用は事前の予約が必要です。必ず所在地へ連絡をおとりください。
- ② 年末年始は休館日です。
- ③ 見学・体験が可能な時間は、原則として10時から16時です。(ただし、12時から13時は避けてください。)
- ④ 団体の受入れをしていない工芸品がございますのでご注意ください。
- ⑤ 工芸品名の横の○印は、製作体験ができる工房です。
- ⑥ 掲載された金額は1人にかかる金額です。

工芸品名	工房運営主体	所在地・電話番号	交通	見学・体験の内容・ 受入れ人数 ほか	休日 (年末年始除く)
村山大島紬	田房染織(有) 田代 隆久	〒208-0032 武蔵村山市三ツ木 2-46-1 電話 042-560-0116	JR中央線川駅下車 立川バス箱根ヶ崎行約 30分	見学のみ(無料) http://www.h2.dion.ne.jp/~tahusa/	土・日曜・祭日
東京染小紋○ 江戸更紗○	(株)富田染工芸 富田 篤 東京染ものがたり博物館	〒169-0051 新宿区西早稲田 3-6-14 電話 03-3987-0701 FAX 03-3980-2519	都電荒川線面影橋駅下車 徒歩2分 JR山手線、 東京メトロ東西線高田馬 場駅下車徒歩20分	見学10時~12時、13時~16時(無料) 製作体験は第3土 曜日の13時~16時(最大30名 10名以上は平日でも体験可) 体験染付 2,000円、袱紗 4,500円 E-mail: tomisen@mtj.biglobe.ne.jp	土・日曜・祭日 (第3土曜日を除く) 臨時休館日ありお問 合せ下さい
本場黄八丈○	黄八丈織物 協同組合	〒100-1621 八丈島八丈町榎立 346-1 電話 04996-7-0516	羽田空港より航空機 45 分 竹芝桟橋より東海汽 船 11時間	製作体験入門コース 四寸小センター 2,500円 コースター 1,500円	土・日曜・祭日
江戸木目込人形○	金林 真多呂	〒110-8505 台東区上野 5-15-13 真多呂人形会館 電話 03-3833-9661	都営大江戸線上野御徒 町下車徒歩5分 東京メトロ日比谷線仲御 徒町駅下車徒歩1分	製作体験は午前の組 10時~12時、 午後の組 13時~15時 各4,000円 継続して製作したい方のためのコースあり http://www.mataro.co.jp	土・日曜・祭日
東京手描友禅	小倉 貞右 (号) 貞右	〒169-0075 新宿区高田馬場 3-25-8 電話 03-3361-2366	JR山手線、東京メトロ 東西線高田馬場駅下車徒 歩8分	見学のみ(無料) 団体5、6名まで http://ogurasengei.com	土・日曜・祭日
東京手描友禅○	東京手描友禅工房協美 大澤 敏	〒161-0033 新宿区下落合 4-6-17 電話 03-3954-3331	西武新宿線下落合駅下車 徒歩5分	製作体験(有料) 20名程度まで (修学旅行生は不可) http://www.yu-zen.net/	日曜・祭日
多摩織○	澤井 伸	〒192-0002 八王子市高月町 1181 電話 042-691-1032	JR中央線川駅乗換青梅 線拝島駅下車バス10分	制作体験(有料)	日曜・祭日
東京くみひも	福島 泰久	〒167-0022 杉並区下井草 1-21-10 電話 03-3397-5426	西武新宿線鷺ノ宮駅下車 徒歩7分、JR中央線阿 佐ヶ谷駅徒歩15分	見学のみ(無料) 1回3名程度	土・日曜・祭日
江戸漆器	稲田 光明	〒111-0013 台東区入谷 2-6-6 電話 03-3873-5668	東京メトロ日比谷線入谷 駅下車徒歩5分	見学のみ(無料) 5~10名以内	土・日曜・祭日
江戸鼈甲	大澤鼈甲(株)	〒113-0022 文京区千駄木 3-37-15 電話 03-3823-0038	東京メトロ千代田線千駄 木駅下車団子坂口より徒 歩2分	見学のみ(無料) 5~6名 E-mail: shop@osawabekko.co.jp http://www.osawabekko.co.jp	日曜・祭日 第2・4土曜日
江戸鼈甲○	赤塚 博	〒110-0001 台東区谷中 7-6-7 電話 03-3828-7957	JR山手線日暮里駅下車 徒歩7分	体験は4名まで3,000円 (学生2,000円) 1週間前要予約	不定休
江戸鼈甲○	磯貝 一	〒130-0015 墨田区横綱 2-5-5 電話 03-3625-5875	JR総武線両国駅下車徒 歩7分 都営大江戸線両国駅下車 徒歩5分	製作体験 3,000円(要予約) 6名程度 見学は無料 http://isogai-bekko.com	日曜・祭日
江戸鼈甲○	鼈甲磯貝 磯貝 實	〒111-0032 台東区浅草 1-21-3 電話 03-3845-1211	東京メトロ銀座線、都営浅 草線浅草駅下車徒歩5分	製作体験 3,000円(要予約) 6名程度 見学は無料 http://www.5e.biglobe.ne.jp/~bekko/	水曜日
江戸鼈甲○	森田 孝雄	〒116-0012 荒川区東尾久 1-16-10 電話 03-3892-3641	JR日暮里駅乗換え日暮 里・舎人ライナー赤土小 学校駅下車徒歩5分	製作体験 3,000円(要予約) 3名程度 見学は無料	日曜

工 芸 品 名	工房運営主体	所在地・電話番号	交 通	見学・体験の内容・ 受入れ人数 ほか	休 日 (年末年始除く)
江戸刷毛○	小林 誠	〒110-0008 台東区池之端 2-7-6 電話 03-3821-6296	東京メトロ千代田線根津 駅下車徒歩 2分	見学年 1回(無料) 5名程度制作体験 詳細はお問合せ下さい	土・日曜・祭日
東京仏壇	青嶋 由雄	〒110-0016 台東区台東 4-21-21 電話 03-3831-9713	JR山手線御徒町駅下車徒歩7分 都営大江戸線、つくばエクス プレス新御徒町駅下車徒歩4分	見学のみ(無料) 10名程度	日曜・祭日 第1土曜日
江戸つまみ簪	石田 健次	〒169-0075 新宿区高田馬場 4-23-28-401 つまみかんざし博物館 電話 03-3361-3083	JR山手線、東京メトロ 東西線、西武新宿線 高田馬場駅下車徒歩 3分	見学のみ(無料) http://www.ask.ne.jp/~kanzasi/	開館日は水・土曜のみ 10時~16時30分
東京額縁○	(有)額縁工房田島	〒111-0053 台東区浅草橋 4-19-2 電話 03-3851-9432	JR浅草橋駅下車徒歩 5分	体験(金箔を写真額におす 7~8 名程度) 有料。お問い合わせください。	土・日曜・祭日
江戸象牙	東京象牙美術工芸 協同組合 ショールーム	〒111-0035 台東区西浅草 3-26-3 電話 03-3841-2533	つくばエクスプレス浅草 駅下車徒歩 5分 東京メトロ銀座線田原町 駅下車徒歩 12分	見学のみ(無料) 8名まで http://www.tokyo-ivory.or.jp	土・日曜・祭日
江戸指物	井上 喜夫	〒116-0014 荒川区東日暮里 4-18-5 電話 03-3807-3426	JR山手線鶯谷駅下車徒 歩 10分	見学のみ(無料) 1~2時間以内 4~5名	土・日曜・祭日
江戸指物○	木村 正	〒110-0004 台東区下谷 3-1-1 電話・FAX03-3874-7926	東京メトロ日比谷線入谷 駅下車徒歩 2分	見学は無料 製作体験は材料費(予約制・2名より) 島桑の箸作り(マイ箸)	日曜・祭日
江戸指物	戸田 敏夫	〒110-0003 台東区根岸 5-9-17 電話 03-3874-1504	東京メトロ日比谷線三ノ 輪駅下車徒歩 6分	見学のみ(無料) 3~4名程度	土・日曜・祭日
江戸指物	渡辺 彰	〒110-0012 台東区竜泉 3-25-4 電話 03-3873-3050	東京メトロ日比谷線三ノ 輪駅下車徒歩 5分	見学のみ(無料) 午前中 2時間 5名程度	土・日曜・祭日
江戸簾 ○	田中 耕太郎 田中 義弘	〒111-0031 台東区千束 1-18-6 電話 03-3873-4653	東京メトロ日比谷線入谷 駅下車徒歩 7分 JR山手線鶯谷駅下車徒 歩 12分	見学、体験についてはお問い合わせ 下さい。 http://www.handicrafts.co.jp	なし
江戸更紗○	染の里 二葉苑	〒161-0034 新宿区上落合 2-3-6 電話 03-3368-8133	西武新宿線中井駅下車徒 歩 5分 都営大江戸線中井駅下車 A 2 出口から徒歩 5分	見学、体験についてはお問い合わせ 下さい。 http://www.futaba-en.jp	日・月曜
東京本染ゆかた	村井 光寿	〒132-0024 江戸川区一之江 6-17-27 電話 03-3651-3108	都営新宿線一之江駅下車 徒歩 20分	見学のみ(無料) 5名程度	土・日曜・祭日
東京本染ゆかた○	東京和晒株式会社 「手拭実染塾」	〒124-0012 葛飾区立石 4-14-9 電話 03-3693-3333	京成立石駅下車徒歩 5分	午前 10時~午後 5時 1回 10名まで 16,000円 http://www.tezome.com/	概ね1ヶ月に1回実施 日程はホームページに 掲載
江戸和竿	吉田 嘉弘 竿富	〒110-0008 台東区池之端 2-7-13 電話 03-3823-3244	東京メトロ千代田線根津 駅下車徒歩 1分	見学のみ(無料) 3名程度	土・日曜・祭日
江戸衣裳着人形	市川 豊玉	〒407-0175 山梨県韮崎市穂坂町宮久保 783-48 電話 0551-23-0711	JR中央本線韮崎駅 タクシーで 15分	見学のみ(無料)	土・日曜・祭日 1~5月は不定休
江戸切子○	東京カットグラス 工業協同組合	〒136-0071 江東区亀戸 2-9-6-101 (ショールーム) 電話 03-3681-0961	JR 総武線亀戸駅下車北 口徒歩 10分	体験(ペーパーウェイトにカットを施す) 小・中・高生 1,000円 大人 2,000円~ http://www.edokiriko.or.jp/	日曜・祝祭日 夏季休暇あり
江戸切子○	彩り硝子工芸	〒136-0071 江東区亀戸 4-19-13 サニービル2階 電話 03-5609-3618	JR 総武線亀戸駅下車北 口徒歩 5分	見学のみは不可 体験 小・中学生 2,100円 大人 3,150円~ E-mail: irodori@edokiriko.com http://www.edokiriko.com	不定休
江戸押絵羽子板	西山 幸一郎 (鴻月)	〒131-0033 墨田区向島 5-43-25 電話 03-3623-1305	東京メトロ銀座線浅草駅下車 浅草雷門通りのバス停(金町 行き)~向島 5丁目下車	見学のみ お問い合わせ下さい。	日曜・祭日 不定休あり

工 芸 品 名	工房運営主体	所在地・電話番号	交 通	見学・体験の内容・ 受入れ人数 ほか	休 日 (年末年始除く)
江戸甲冑	加藤一冑工房	〒113-0033 文京区本郷 6-2-7 香川ビル 電話 03-3811-5042	東京メトロ南北線東大前 駅下車徒歩 5分	見学のみ (無料) 3~4名程度	土・日曜・祭日
江戸甲冑	加藤 鞆美	〒113-0023 文京区向丘 2-26-9 電話 03-3823-4354	東京メトロ南北線本駒込 駅下車徒歩 6分 都営三田線白山駅下車徒 歩 10分	見学のみ (無料) 午後のみ 5~6名程度	不定休
東京藤工藝	小峰ラタン(株) 小峰 正孝 工房ショップおみねらたん	〒131-0045 墨田区押上 2-4-9 電話 03-3623-0433	東京メトロ半蔵門線押上 駅下車A3出口徒歩 3分 東武伊勢崎線業平橋駅下 車徒歩 1分	工房ショップ内に資料館有り 見学無料 http://www.ratan.jp	日曜 (その他臨時休があ ります)
東京桐箆笥○	林タンス店	〒142-0043 品川区二葉 2-22-6 電話 03-3782-1821	JR 総武横須賀線西大井 駅下車徒歩 2分	見学のみ不可 ペン立等の製作体験 1,500円 http://www1.cts.ne.jp/~tansu/	土・日曜・祭日
東京彫金	小川 健次郎	〒166-0012 杉並区和田 3-8-13 電話 03-3381-9859	東京メトロ丸ノ内線東高 円寺駅下車徒歩 5分	見学のみ (無料) 2、3人程度 http://www.dentoukougei.jp/ chokin/	土・日曜・祭日
東京打刃物	三浦 康巨	〒121-0064 足立区保木間 5-2-14 保木間工場電話 03-3884-3155 根岸本社電話 03-3875-8338	東京メトロ日比谷線竹ノ 塚駅下車 東武バス花畑団地行北保 木間下車 6分	見学のみ (無料) 午前のみ 5名程度	土・日曜・祭日
東京三味線○	向山 正成	〒132-0035 江戸川区平井 4-1-17 電話 03-3681-7976	JR 総武本線平井駅下車 徒歩 5分	見学は無料 製作体験は材料費として 1,500円 http://www.mukouyama.jp	不定休
東京無地染○	株式会社近藤染工 代表 近藤 良治	〒135-0024 江東区清澄町 2-15-3 電話 03-3641-2135 FAX 03-3641-3756	都営大江戸線・東京メト ロ半蔵門線清澄白河駅下 車徒歩 2分	見学 (無料) 体験 (材料費有料・5~6人程度) 体験内容は小切れの絞り染め等	土・日曜・祭日 ※土曜日は事前連絡 により、午前のみ応 相談
東京琴	金子 誠次	〒146-0083 大田区千鳥 3-18-3 電話 03-3759-0557	東急多摩川線下丸子駅、 東急池上線千鳥町駅下車 徒歩 5分	見学のみ (無料) 5名程度 http://www.kanekogakki.com/	土・日曜・祭日
江戸からかみ	(株)東京松屋 ショールーム	〒110-0015 台東区東上野 6-1-3	東京メトロ銀座線稲荷町 駅下車徒歩 2分	見学のみ (無料) ビデオ (30分) 上 映、完成品多数展示しています。 http://www.tokyoumatsuya.co.jp/	日曜・祭日
江戸木版画	安達 以乍牟 (株)アダチ版画研究所 目白ショールーム	〒161-0033 新宿区下落合 3-13-17 電話 03-3951-2681	JR 山手線目白駅下車徒 歩 10分	見学のみ (無料) 製作工程展示等あり 実演を年数回定期的に開催 (無料) http://www.adachi-hanga.com	日曜・祭日 第1・3・5土曜日
東京七宝○	坂森 登	〒111-0041 台東区元浅草 1-2-1 坂森七宝工芸店内 電話 03-3844-8251	JR 山手線御徒町駅下車 徒歩 10分 都営大江戸線新御徒町駅 下車徒歩 2分	①体験教室 1回12名まで2時間程度 1,200円もしくは1,600円 月~土の午前中(月・木は午後可) ②七宝教室 (火・水・金・土の午後) http://www.sakamori-shippo.com	日曜・祭日 第1・4土曜日
東京手植ブラシ	宮川 彰男	〒111-0041 台東区元浅草 2-10-14 電話 03-3844-5025	東京メトロ銀座線稲荷町 駅下車徒歩 2分	見学のみ (無料) http://www17.ocn.ne.jp/~edo-hake/	土・日曜・祭日
江戸硝子○	菅原工芸硝子(株)	〒283-0112 千葉県山武郡九十九里町藤 下 797 電話 0475-76-3551	JR 東金線東金駅下車 バス 東金九十九里有料 道路小沼田インター	制作体験は要予約、有料 (小学生以上) E-mail : info@sugahara.com http://www.sugahara.com/	無休 (年末年始以外)
江戸手描提灯	(有)花藤 櫻井 征郎	〒111-0032 台東区浅草 2-25-6 電話 03-3841-6411	つくばエクスプレス浅草 駅下車徒歩 5分	見学のみ (無料) http://www2.plala.or.jp/Asakusa-HanatoH/	火曜日
江戸手描提灯○	(有)大嶋屋恩田 恩田 舜史	〒111-0043 台東区駒形 2-6-6 電話 03-3841-2691	都営浅草線浅草駅下車 A 2-b出口徒歩 3分	提灯の文字描き体験 (2,000円実費) http://www.chochin-ya.com	不定休 (お問合せください)
江戸手描提灯	山田屋 山田 記央	〒111-0034 台東区雷門 2-9-9 電話 03-3841-8849	東京メトロ銀座線浅草駅 下車徒歩 3分	見学のみ (無料)	日曜・祝日

東京都伝統工芸品指定産地組合一覧

工芸品名	産地組合名	組合電話番号	組合所在地	指定年月日 ()は国指定年月日
1 村山大島紬	村山織物協同組合	042(560)0031	208-0004 武蔵村山市本町 2-2-1	57.12.24 (50.2.17)
2 東京染小紋	東京都染色工業協同組合	03(3208)1521	169-0051 新宿区西早稲田 3-20-12	57.12.24 (51.6.2)
3 本場黄八丈	黄八丈織物協同組合	04996(7)0516	100-1621 八丈島八丈町榎立 346-1	57.12.24 (52.10.14)
4 江戸木目込人形	東京都雛人形工業協同組合	03(3861)3950	111-0052 台東区柳橋 2-1-9 東商センタービル4階	57.12.24 (53.2.6)
5 東京銀器	東京金銀器工業協同組合	03(3831)3317	110-0015 台東区東上野 2-24-4	57.12.24 (54.1.12)
6 東京手描友禅	東京都工芸染色協同組合	03(3953)8843	161-0032 新宿区中落合 3-21-6	57.12.24 (55.3.3)
7 多摩織	八王子織物工業組合	042(624)8800	192-0053 八王子市八幡町 11-2	57.12.24 (55.3.3)
8 東京くみひも	江戸くみひも伝承会	03(3873)2105	111-0022 台東区清川 1-27-6 (株)桐生堂内	57.2.4
9 江戸漆器	東京都漆器商工業協同組合	03(3293)2501	101-0048 千代田区神田司町2丁目 15番地 玉川漆器株式会社内	57.2.4
10 江戸鼈甲	東京べっ甲組合連合会	03(3682)4405	136-0071 江東区亀戸 3-3-2-4 鼈甲職員工房内	57.2.4
	東京鼈甲工芸品工業協同組合	03(3851)7608	111-0051 台東区蔵前 4-8-3	
	東日本べっ甲事業協同組合	047(325)2166	272-0034 市川市市川 2-20-1 (有)松仙べっ甲製作所内	
	東京装粧品協同組合第4部会	03(3862)4741	111-0053 台東区浅草橋 3-21-2	
11 江戸刷毛	東京刷子工業協同組合	03(3622)5304	130-0001 墨田区吾妻橋 2-2-14 東京ブラシ会館	57.2.4
12 東京仏壇	東京唐木仏壇工業協同組合	03(3620)1201	120-0005 足立区綾瀬 3-5-15	57.12.24
	東京宗教用具商業協同組合	03(3542)5771	104-0061 中央区銀座 7-14-3	
13 江戸つまみ簪	東京髪飾品製造協同組合	03(3841)6747	111-0042 台東区寿 3-20-11 (有)石黒商店内	57.12.24
14 東京額縁	東京額縁工業協同組合	03(3851)9432	111-0053 台東区浅草橋 4-19-2 (有)田島工房	57.12.24
15 江戸象牙	東京象牙美術工芸協同組合	03(3841)2533	111-0035 台東区西浅草 3-26-3	58.3.10
16 江戸指物	江戸指物協同組合	03(3874)1504	110-0003 台東区根岸 5-9-17 戸田方	58.8.1 (H9.5.14)
17 江戸簾	東京簾工業協同組合	03(3873)4653	111-0031 台東区千束 1-18-6 田中製簾所内	58.8.1
18 江戸更紗	東京都染色工業協同組合	03(3208)1521	169-0051 新宿区西早稲田 3-20-12	58.12.27
19 東京本染ゆかた	関東注染工業協同組合	03(3693)3333	124-0012 葛飾区立石 4-14-9 東京和晒(株)内	58.12.27
20 江戸和竿	江戸和竿協同組合	03(3803)1893	116-0003 荒川区南千住 5-11-14 竿忠方	59.11.1 (H3.5.20)
21 江戸衣裳着人形	東京都雛人形工業協同組合	03(3861)3950	111-0052 台東区柳橋 2-1-9 東商センタービル4階	59.11.1 (H19.3.9 ※)
22 江戸切子	東京カットグラス工業協同組合	03(3681)0961	136-0071 江東区亀戸 2-9-6-101 ソレイユ2	60.7.15 (H14.1.30)
23 江戸押絵羽子板	東京都雛人形工業協同組合	03(3861)3950	111-0052 台東区柳橋 2-1-9 東商センタービル4階	60.7.15
24 江戸甲冑	東京都雛人形工業協同組合	03(3861)3950	111-0052 台東区柳橋 2-1-9 東商センタービル4階	61.7.18 (H19.3.9 ※)
25 東京藤工芸	藤事業協同組合	03(3862)3101	111-0052 台東区柳橋 1-30-6 小西貿易(株)内	61.7.18
26 東京桐箆笥	東京都桐たんす工業協同組合	03(3806)1664	116-0014 荒川区東日暮里 6-13-15 川俣桐タンス店内	62.7.27
27 江戸刺繍	東京刺繍協同組合	03(3668)4856	103-0015 中央区日本橋箱崎町 39-4-404 甲斐谷方	62.7.27
28 江戸木彫刻	日本木彫連盟 江戸木彫刻	03(3691)7154	124-0025 葛飾区西新小岩 1-1-2-315 福島方	63.7.29
29 東京彫金	日本彫金会	03(3381)9859	166-0012 杉並区和田 3-8-13 小川方	63.7.29
30 東京打刃物	東京刃物工業協同組合	03(5824)0381	111-0004 台東区下谷 2-22-6	元.7.26
31 江戸表具	東京表具経師内装文化協会	03(3261)1037	102-0083 千代田区麴町 3-4	元.7.26
32 東京三味線	東京邦楽器商工業協同組合	03(5836)5663	132-0035 江戸川区平井 4-1-17 向山楽器店内	2.8.9
33 江戸筆	社団法人東京文具工業連盟	03(3864)4391	111-0053 台東区浅草橋 1-3-14	2.8.9
34 東京無地染	東京都染色工業協同組合	03(3208)1521	169-0051 新宿区西早稲田 3-20-12	3.8.15
35 東京琴	東京邦楽器商工業協同組合	03(5836)5663	132-0035 江戸川区平井 4-1-17 向山楽器店内	3.8.15
36 江戸からかみ	江戸からかみ協同組合	03(3842)3785	110-0015 台東区東上野 6-1-3 東京松屋ヨールム内	4.8.20 (H11.5.13)
37 江戸木版画	東京伝統木版画工芸協同組合	03(3526)3678	113-0034 文京区湯島 1-1-6 広橋ビル2階	5.12.17 (H19.3.9)
38 東京七宝	東京七宝工業協同組合	03(3844)8251	111-0041 台東区元浅草 1-2-1 坂森美術七宝工芸店内	14.1.25
39 東京手植ブラシ	東京刷子工業協同組合	03(3622)5304	130-0001 墨田区吾妻橋 2-2-14 東京ブラシ会館	14.1.25
40 江戸硝子	社団法人東部硝子工業会	03(3631)4181	130-0026 墨田区両国 4-36-6	14.1.25
41 江戸手描提灯	東京提灯業組合	03(3841)6411	111-0032 台東区浅草 2-25-6 (有)花藤内	19.12.19

※ 「江戸衣裳着人形」と「江戸甲冑」は「江戸節句人形」の名称で、国の指定を受けました。



お問い合わせ先

■東京都産業労働局商工部経営支援課

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

TEL.03 (5320) 4783

ホームページアドレス

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/shoko/>

■財団法人東京都中小企業振興公社 城東支社

〒125-0062 葛飾区青戸七丁目2番5号

TEL.03 (5680) 4631

ホームページアドレス <http://www.tokyo-kosha.or.jp/>

産業労働局商工部経営支援課

平成21年10月発行

登録番号 (21) 95

R100

古紙/リサイクル率100%再生紙を使用しています。